

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称 [26] 東京都台東区立たいとう高齢者在宅サービスセンター

指定管理者の名称 社会福祉法人聖風会 指定期間 H22.4.1 ~ H27.3.31

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、短期入所、在宅介護支援センター、ヘルパーステーション、グループホーム、ケアマネジメントセンター、地域包括支援センター等の運営
(2) 類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 8 施設
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) 歳入4,617,962,704円 歳出4421,681,797円 収支差額196,280,907円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区台東 1-25-5
(2) 設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(3) 利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く） 8時30分～17時15分
(5) 規模	延べ床面積 21,236㎡のうち1,147㎡ RC造地上14階地下2階のうち3階の一部 デイルーム、食堂、機能訓練室、談話室、クリーンルームなど
(6) 人員体制	22名 内訳…相談員（2）、介護職員（常勤4、非常勤12）、看護職員（2）、機能訓練指導員（1）、運転手（非常勤1）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	①通所介護・認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）②介護予防通所介護・介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）
(2) 自主事業	自主事業は行っていない

4. 予算決算の推移

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	8,685,000	7,094,000	2,808,000	1,406,000	0
	料金収入等	109,491,000	110,090,000	116,208,000	117,918,000	115,563,000
	管理経費	118,176,000	117,184,000	119,016,000	119,324,000	115,563,000
決算	委託料	9,363,000	2,156,506	2,297,000	1,406,000	0
	料金収入等	106,538,436	116,261,770	128,071,717	116,037,590	126,662,865
	管理経費	110,963,942	105,584,076	128,962,717	106,342,429	121,729,457
	収支	4,937,494	12,834,200	1,406,000	11,101,161	4,933,408

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	311	310	310	311
定員（一般デイ）	人	30	30	30	30
定員（認知デイ）	人	12	12	12	12

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値 (23年度)	19年度	20年度	21年度
利用率（一般デイ）	%	90.0	88.0	85.8	84.5
利用率（認知デイ）	%	80.0	73.3	79.8	74.4

## 7. 前年度からの取組

利用者への足浴（フットケア）を始めるとともに、1日の入浴回数も増やすなどして、サービスの向上を図っている。

**8. 評価項目** 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[-]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**  
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の視点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	職員の配置や研修で接客能力の向上を図るとともに、月1回の防災訓練など緊急時の対応などに力を入れており、良好なサービスを提供することで高齢者福祉の増進に寄与している。
(2) 施設の維持管理	A	施設保全及び危機管理に高い意識を持って維持管理に取り組んでいる。
(3) 利用者の満足度	A	ソフト食の導入など、利用者にとってより活用しやすい施設となるよう、環境整備を行っている。
(4) 歳入歳出	A	料金収入等の増加により、指定管理料無しでの施設運営を実現している。一方管理経費は増加しているため、その縮減について引き続き取り組む必要がある。

**10. 総合評価** 良好 妥当 要努力 要改善 不適

**妥当**

利用者が快適に過ごせるよう環境づくりへの工夫が随所に見られ、また職員配置など高水準の体制で事業が運営されており、良好なサービス提供が行われている。

## 11. 評価結果への対応

施設は開設後9年が経過しており、様々な箇所で経年劣化が進行しているため、計画的に営繕工事、備品修繕等を行っていく必要がある。また経費削減の努力をするとともに、利用率の上昇を目指して利用者本位のサービスを心がけていく。